



学校教育目標「溢れる英知 輝く笑顔」～学習いっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい～



PARIS 2024



人生で重要なのは 成功ではなく努力である

校長 清水 一司

連日の日本人選手メダル獲得に沸いたパリ・オリンピックでした。日本人選手のメダル獲得の瞬間をリアルタイムで目撃しようと眠気に耐えながら真夜中の実況中継を観ていた方も多かったことでしょう。

今回のオリンピックで日本は20個の金メダルを獲得しました。これは海外で開催されたオリンピックとしては史上最多だそうです。また、銀メダル12個と、銅メダル13個を合わせたメダル獲得総数は45個と、こちらも海外で開催されたオリンピックとして過去最多だそうです。ここ数年の日本人選手の競技力向上には目を見張るものがあります。個人的には、埼玉県にゆかりのあるレスリング男子フリースタイル74キロ級の高谷大地選手と、陸上男子1600メートルリレーの佐藤拳太郎選手に注目していました。高谷選手は決勝戦で敗退するも銀メダルを獲得、佐藤選手はアジア新記録で6位入賞と、両選手とも世界を相手に素晴らしい結果を残してくれました。

一方で今回のオリンピックでは、試合に勝ち続けることの難しさ、勝負の世界の厳しさも思い知らされました。女子柔道52キロ級で東京オリンピックに続き金メダル獲得が確実視されていた阿部詩選手が、2回戦でウズベキスタンの選手に敗れてしまいました。「柔道界のレジェンド」と世界から称されていた阿部選手だけに、この敗戦には大きな衝撃を受けました。畳を降りた直後の慟哭が、阿部選手の口惜しさと無念さを物語っていたように思います。しかし、阿部選手は帰国後に「オリンピックの借りはオリンピックでしか返せないと思うので、必ずリベンジしたい。」と4年後のロサンゼルスオリンピックでの雪辱を誓っていました。阿部選手には今回の敗戦をさらなる成長への糧とし、誰にも追いつくことのできない高みを目指してほしいと願っています。

さて、本校の生徒も夏季休業中に柔道男子個人戦の県大会出場、テニス男子ダブルスの関東大会出場、バレーボール女子の県大会優勝及び関東大会出場、陸上競技100m男子の全国大会出場、走り高跳び女子の県大会優勝及び関東大会、全国大会出場と大活躍しました。桜木中学校の名を背負った生徒が関東大会や全国大会で躍動する姿には心が動かされました。しかし、試合やレースは永遠に勝ち続けるわけにはいきません。敗戦後に生徒が涙を流す場面にも遭遇してきました。どの生徒も全国の頂点を目指して真剣に努力していただけない限り、現実を受け止めるまでには時間がかかったようです。

パリ出身で近代オリンピックの父であるクーベルタン男爵は「人生で重要なのは、成功ではなく努力である。」と言っています。阿部詩選手にしても本校生徒にしても、試合やレースに敗れはしたもののここまで努力してきた事実は残っています。この経験は、これからの人生に大きな影響をもたらすことは間違いないと確信しています。